

6月の定例作業は6月8日(土)9時からグリーントリム公園に集合

アジサイ 30本の植樹と、花を約200ポット植えます。11時半に終わります。雨天のときは6/15(土)に延期。

平日作業日は、6月18日(火)9時からグリーントリム公園に集合

雨天のとき中止。

**1. 総会では、全議案承認、副会長・監査の交代、懇親会は、全員発言。**

5/11(土)、本日は晴天なり、10時より美原会館で総会が開かれました。



総会

出席24名+来賓6名。来賓は橋本弘山羽村市長、まちづくり部吉岡隆宏部長、土木課並木政人課長、公園管理係井上亮太係長、美原町内会小作敏之会長、羽村市公園等指定管理者ウィングパーク村岡新代表の、いつもお世話になっている方々ですが、橋本市長と小作敏之会長を除いて、会員が直に接する初めての機会となりました。橋本市長から「美原里山通信を毎号読んでいます。今号でも“会はマンネリ化していないか”と問い掛け活力を蓄えていると思いました。羽村市も協働・

支援するので、活動を今後もお願いしたい」との挨拶を頂きました。

議事は、橋本会長の議長兼議案説明によってスムーズに進行しました。令和5年度活動報告・決算報告、および令和6年度活動計画・予算案が承認され、最後の役員改選(2年の任期終了にあたる)では、橋本芳明会長が再選され、会長提案の副会長(田村銅さんから石田利雄さん・田村儀一さんへ)、会計(宮脇幸男さん留任)、総務(清水健一さん・勝原光治郎さん留任)、監査(石田利雄さん・田村儀一さんから関口幹夫さん・田村勝さんへ)の案が承認されました。

質疑としては、「会活動の発表は、これまでの町内会回覧や美原フェスティバルなどがあるが、もっと増やして会員を増やそう。」「ウィングパークとの交流もしてほしい。」「松枯れ、ナラ枯れ、桜枯れが進行しているので、枯れた大きな木の伐採を市にしてもらいたい。」などがありました。

引き続いて、懇親会が開かれました。コロナ後の初めての会館での懇親会です。橋本弘山市長、ウィングパーク村岡新さんも含めて、参加者23名です。

自由歓談の後、全員の発言を席順にしました。(市長らも発言の輪に入りました)(途中、清水やす子都議参入)発言は以下、順不同です。

★美原里山でやる刈払機・チェーンソーの作業を、郷里に帰った時もやりました。★小さな地域の活動と思っていたが、農林水産大臣賞をもらってこの会の活動が全国レベルの評価に値したと実感した。これからも続けていきたい。★ふるさとを大切にしようという郷土愛から始まった活動だが、なつかしさだけではこれからやっていけなくなる。環境からもらう力を感じて、緑を大切に活動の活動を続けていきたい。★“遠くの親戚より近くの他人”のような人間関係ができてうれしい。★スギ花粉公害を止めるべき★里山整備の長期計画・中期計画を考える時ではないか。★木にネームプレートをつけているが、樹名は1年通してみているとわからないものもある。★じいさんに



懇親会

なって月2回楽しめるという気分で参加している。★ウィングパークのホームページに美原里山通信を載せました。5/23にやぎの放牧をします。★腰を痛めて休んでいる。★里山が保育園児の遊び場となっているのがいい。★土曜日にも仕事が忙しく休みが続いている。★これまで人身事故なくやってこれた、これからは安全には気を付けていこう。★この会の人たちは、いつまでも青年のような人たちで素敵です。★会に入っつるはしをはじめて使った。★チェーンソーの講習会を受けて使えるようになった。★作業ヘルメットは、現状では安い簡便なものを使っているが、使用期間も10年以上のものもあるので、安全のため規格付きのヘルメットに交換すべきではないか。★他所で生まれ、これまで転居を繰り返して、流れ流されて羽村は美原の地にやって来た新住民です。自分の住む地域の人と仲良くなり、いい環境にしていくのは、誰でもやってあたりまえのこと。あたりまえに作業に加わっています。

2. 平日作業では、アジサイ植樹用の穴掘り、カブトムシ養殖場にチップ搬入

5/21(火)は前日雨の当日曇天、後に晴れ。参加者5名。

土木課に要望していたアジサイ供与が月末に来るといので、その穴掘りをしました。第2広場の斜面側の昨年度植えた列の後ろに21個の穴を掘りました。また、休憩時間の後、第1広場と第2広場の中間の園路沿いに、ここも昨年度植えた場所の近くに穴を18個掘りました。合計39穴です。

この日、環境政策課から、子どもの自然観察奨励のためのカブトムシ養殖用の木片チップ(株)大進緑健から無償提供)が搬入されました。昨年度設置した場所のチップが足りないので追加です。この事業は、羽村市・ウィングパーク・美原里山保存会の3者協働の事業の一環です。

後日5/27に、アジサイの株が30株届きました。予定より少ない分は秋の供与のときに来るそうです。

まつの木保育園の園児らが先生に連れられて遊びに来ていました。先生の許可をもらって写真パチリ。のどかです



アジサイ植樹用の穴掘り作業



カブトムシ養殖場にチップ



保育園児らの散歩

3. 特定外来生物 “大金鶏菊” が、ゲートボール場周辺で繁茂

ゲートボール場南側と西側の広場にコスモスに似た黄色い花が群生していて壮観です。とてもきれいです。

しかし、この花は、大金鶏菊(おおきんけいぎく)で、平成18年に特定外来生物に指定されました。北米原産、繁殖力旺盛で、在来種を駆逐してしまいます。多年草なので、種子と根茎で繁殖します。



大金鶏菊

駆除は種子ができる前に、根っこから引き抜き、種子や根っこを落とさないよう袋に密封し数日間日光の下で枯らして、燃やせるゴミにして処理します。毎年根気よく駆除を続ける必要があるようです。市中で見つけたら、羽村市環境政策課に伝えて下さい。

なお、外来生物法によって、栽培が禁止されていて違反すると、個人の場合3年以下の懲役または300万円以下の罰金、企業等の場合1億円以下の罰金が科せられるそうです。

この区域には、ヘラオオバコ、ツキミソウ、ハルジオン、ブタナ、シロツメグサ、ムラサキツメクサなど多種が共存しています。これらが消え去るのは悲しい。